

もっと清水が好きになる。

しみの風

2023

6

No.596



特集

農業への思いをカタチに!



グローイング ■ フェイス

Glowing Face

■ いま、清水で輝いている人たち

望月 和加代(66)さん

JAしみず女性部 部長

○もちづき わかよ／第50回JAしみず女性部通常総会で部長に就任。
これまで、女性部副部長や高部支部長として活躍。



■ 第50回女性部通常総会

今年の女性部通常総代会で部長に就任した望月さんは依頼が来たとき「よし！やってみよう」と前向きな気持ちになったという。「JAしみず女性部が一つの輪になって、心のよりどころになってくれればうれしいですね」と女性部への思いを話してくれた。

これまで望月さんは、JAしみず女性部の高部支部長と本部の副部長を歴任。活動を通して地域とかがわかることで、さまざまな体験や学びを得てきた。自家用に栽培したキュウリやナスで作る、お手製のしば漬は、望月さんの自

パートナーシップで心の輪

コロナ禍で制限されていた活動、 対策をとりながら再開を進める

慢の二品だ。防腐剤が入っていないこの
しば漬けも女性部のクラブ活動で学
んだことがきっかけで作るようになった
という。

3年以上続いた新型コロナウイルスによる制
限が緩和され、今年は感染対策をとり



約10年ぶりに再開したフレッシュミズ

ながら活動を徐々に再開していき
たという。各支部では、みそ作りや、朝
市、寄せ植え教室、食育授業など多岐
にわたる活動を行っている。今年は、女
性部運動会にエアロビクスを取り入
れ、より気軽に、女性部員同士の交流
ができるよう工夫をする。また、約10
年ぶりに再開したフレッシュミズの活
動も支援し、世代をこえて若い人たち
との交流も大切にしていきたいと思
いを話してくれた。

みんなとともに、情報発信

昨年の台風15号で浸水被害が多く発
生した地域に自宅がある望月さんは、
自然環境の変化を心配する。「温暖化の
ためか、家の庭の花々が昨年よりも10
日ほど早く咲いていることにも大変驚い
ています」と身近な変化にも注意を払
い「今後、女性部活動に、防災学習を取
り入れていきたい」と話す。自分たちや
地域の人々のためになる学びの場を
増やしていきたい考えだ。

また、今後は女性部活動を多くの
人に知ってもらうために、情報発信にも力
を入れ、インスタグラムなどSNSを
活用した情報発信を進めていく。女性
部の魅力をPRするとともに、支店の
ロビーなど、見て触れられる場所に、活
動の写真や作品を展示し、二人でも多
くの人がJ・Aしみず女性部やフレッ
シュミズグループに興味を持って仲間
が増えてくれたらうれしい」と、語っ
てくれた。



女性部の支部活動を掲示した袖師支店の展示スペース

CONTENTS

風の風

2023
6
No.596



記事の一部は
Youtubeで配信
しています。

2 Glowing Face
望月 和加代さん

4 特集 /
農業への思いをカタチに!

8 TOPICS

10 本格・畑づくり
～ ラッカセイ ～

12 営農ワンポイント
～ 7月編 ～

15 キッチンとおいしい!すぐできレシピ
～ 葉ネギのおつまみ巻き ～

16 SDGs/
組合員の営農継続のために

17 いまどき!Youth

18 Information

20 ゆるっと発見!しみずの魅力
～ 清水地域 ～



草ヶ谷剛さん・依吹さん夫妻
(静岡市清水区原)

原地区でバラをハウス栽培している草ヶ谷さん。
フェスティボやプリランテ、サントワマミーなど、
数多くの品種を育てています。妻の依吹さんが出
荷作業、剛さんはハウス内での栽培管理と、夫婦
二人三脚で取り組んでいます。

今月の表紙



特集

農業への思いを カタチに!

—営農経済事業成果発表会—

JAしみずでは、組合員の所得向上を目指して、毎年「営農経済事業成果発表会」を開いています。営農経済担当者がそれぞれの取り組みを発表し、各部署で情報を共有。優良な事例を今後の事業につなげることを目的としています。

今号は3月下旬に行った、2022年度の事業成果発表会から、営農経済担当職員が取り組んだテーマを追いました。

■ 発表会参加者と取り組みテーマ

2022年度 所属部署	氏 名	テ ー マ
営農企画課	萩原 靖子	「フレッシュミズ再立ち上げ」の取り組み
組合員相談課	鈴木 智暁	農協税務支援におけるWeb簿記システム統一へ
営農振興センター	増田 彬人	規格変更を通じた柑橘類の売上増加について
集出荷センター	望月 裕人	シキミ・ヒサカキの売上拡大について
柑橘果樹課	小泉 政樹	貯蔵及び選果請負の利用拡大
購買課	内藤 将史	購買課の取り組みについて～組合員の営農継続のために～
グリーンセンター	望月彩友美	花卉・園芸部門の売上UP
興津営農拠点	安竹 英晴	“青島温州”超省力連年多収技術の追求
中部営農センター	杉山沙哉佳	マルチ押さえ～ホース型水のうの活用～
南部営農センター	永井 和幸	購買事業における推進活動
柑橘果樹課	三田 涉瑠	こん太へのGP剤散布による着果率向上試験
三保営農拠点	塩崎 祐志	中核人材育成研修会の取り組み報告

集出荷センター 望月 裕人

集出荷センターで、シキミ・ヒサカキを担当して5年。その他、洋花など花木の営農指導を行っている。



シキミ、ヒサカキ売上拡大 部会と共に取り組む

集出荷センターでは、シキミとヒサカキの増産に取り組んでいます。

■新規生産者の募集と支援

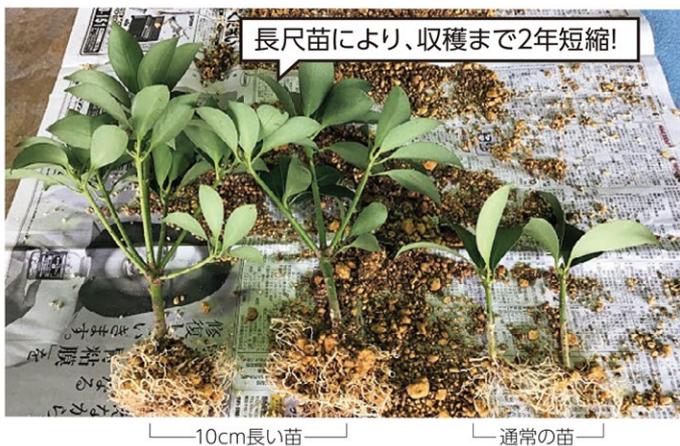
茶の転作などで栽培面積を増やしているシキミとヒサカキをさらに広げるため、新規生産者を募集しました。2019〜2022年度までに8人が新たに栽培を始め、現在、3人が出荷に至っています。

園地の貸借や栽培支援も行っています。2025年度には新規生産者8人全員が出荷を行い、2000万円の売り上げ増加を目指しています。

■挿し木苗で早期出荷へ

高品質なシキミを栽培するために、「優良品種の増殖」に取り組んでいます。部会内で優良品種を選抜し、挿し木にて増殖しています。

実生苗や購入苗と比較すると、育苗管理に労力はかかりますが、将来の生産量や健全経営のためには挿し木による増殖が重要と考え、部会員と協力して毎年、育苗ポットに挿し木をして



います。

挿し木は、植え付けから大束での出荷開始までに約5年と長い期間を要します。そこで、通常の穂木より10センチも長い「長尺挿し木苗」の試験を行いました。

長尺苗は生育スピードが速く、通常の苗に比べ、収穫まで2年短縮できる見込みとなりました。

■全員検品で品質改善

これまでは、厳密な出荷規格がなく、生産者間で品質にばらつきがあり、

市場からのクレームの原因になっていました。出荷物の検品を出荷者全員で実施することで改善しました。

目揃会とは違い、出荷日にランダムで出荷物の検品を行っています。

継続していくことで部会員一人一人の意識が変わり、良いものを作ろうという意思統一ができました。その結果クレームが非常に少なくなりました。また、2020年度と比較し、販売単価が約2割上昇しました。

今後も、生産者の所得向上を常に意識し、部会員と共に頑張っていきます。



部会員全員で出荷物を検品し、品質改善につなげている

柑橘茶振興課
(旧 柑橘果樹課)

三田 渉瑠

柑橘類の指導担当として、各営農担当者が毎年行う「営農技術員1人1課題」に取り組み、「こん太」の所得向上に向けた栽培試験を進めてきた。



清水区生まれの「こん太」 早期出荷の取り組み

清水区で発見されたキンカン「こん太」の早期出荷のための試験を、2年間に渡り進めてきました。

■「こん太」の早期出荷の必要性

「こん太」の多くは2月と3月に出荷が行われていますが、キンカンは1月、2月が高単価で推移しているため、1月の出荷を増やし、3月の出荷量を減らすことで農家所得の向上が見込めます。

■ホルモン剤を使用した 早期出荷試験

2021年度は、果実の色付きを早めるため、植物成長調整剤のエスレル10で試験をしましたが、糖度が低下してしまいました。2022年度は、一番花の着果率を高める事ができれば、出荷時期が早まると考え、ホルモン剤であるGP剤(ジベレリン液剤+ジヤスモメート液剤)を着果促進剤として使用し、薬剤を散布した一番花がどの程度着果するか試験を行いました。



矢部地区のこん太ハウスにて

■試験の実施と結果について

大内地区と横砂地区の2園地でGP剤を一番花へ散布し、無処理区と比較しました。散布日から約1カ月後に比較した結果、落弁期近くに処理した大内地区は、着果率が4.2%、無処理区の着果率が0.9%とGP剤を散布した方が約4倍高くなりました。

一方、満開日に処理した横砂地区は一番花が全て生理落果してしまいました。



GP剤処理をしたこん太(左)は糖度が高くなる一方、果皮の青みが残ってしまった。

以上の結果から、散布適期が関係していると考察しました。

また、糖度調査では、GP剤処理区の方が糖度が高く推移しましたが、GP剤処理を行うと一部で青みが抜けていないことが分かりました。

2021年度はエスレル10、2022年度はGP剤と、2年間ホルモン剤による試験を実施してきましたが、それぞれ大きなデメリットが発生しています。

そのため、次年度はキンカン「ぶちまる」で実績がある、環状剥皮を研究し、早期出荷を実現し、生産者所得の向上に繋がる生産指導を行っていきます。

集出荷センター
(2022年度/三保営農拠点)

塩崎 祐志

2022年度までの8年間、三保営農拠点でレッドオーレやエダマメなどの営農指導・販売を担当。



研修会での学びを活かし、 将来に向けた具体策作り

J A静岡中央会では、地域農業の振興をけん引するリーダーの育成を目的に、「営農部門における中核人材育成研修会」を行っています。

■5年後のめざす将来像

研修会に参加し、三保地区の主要品目である「レッドオーレ部会」の「5年後のめざす将来像」の策定を行いました。

レッドオーレ部会が掲げる年間目標は販売金額1億円、平均単価6000円。この目標に沿った内容で5年後の目標設定を販売金額1億2000万円(受託販売)市場出荷1億1000万円、買取販売1000万円)達成としました。

まずは部会員にアンケートを行い、「生産者の高齢化、後継者不足、規模拡大による労働力確保」など、産地課題の抽出を行いました。

■現状分析と取組内容の検討

産地課題を解決するために、研修会で学んだ手法「SWOT分析」などを用い、現状分析を行いました。JA内関



生産者と話し合う塩崎氏(中央)

係部署を交えて、「レッドオーレ部会」組織としての強みや弱み、品種の長所や短所、社会情勢や環境の変化、買取販売金額を向上させる方法などを挙げていきました。それらを基に、昨年の販売高9795万円を約1.2倍にし、目標を達成するための5つの取組みを具体化しました。

■5つの取組み

1つ目は担い手育成です。新規就農者受入体制を構築することにより生産基盤の強化を図ります。



中玉トマト「レッドオーレ」

2つ目は栽培面積維持、農地貸借の円滑化です。大玉トマト部会員との作物集約の検討、農地貸借の円滑化により作付面積維持を図ります。

3つ目はパッケージセンターの利用拡大です。パッケージセンターの利用調査と繁忙期の利用斡旋により、作付面積・出荷量増加を図ります。

4つ目は販売力の強化です。既存取引先の取扱エリア拡大と新規取引先の模索と課題抽出を行い、買取販売金額増加を図ります。

5つ目は品質統一です。目標会の継続による品質統一と食味検査実施による品質向上を図ります。これらの取組みを実践し、産地振興に取り組んでいきます。

土地改良連絡協議会 事業促進や役員選任などを審議承認

静岡市土地改良連絡協議会は4月24日、本店で2023年度通常総会を開き、各土地改良区の理事長など約30人が参加しました。

総会では、22年度事業報告並びに収支決算・財産目録承認の件、事業促進のための23年度事業計画、役員選任、23年度会費の徴収と助成金についてなど6議案を審議し、承認しました。

報告事項では土地改良功労者表彰や政策要請などについて報告されました。



▲ 2023年度基本計画などを決めた通常総会

清水ブランド茶 出来栄え上々 新茶「まちこ」収穫スタート

JAしみず管内の茶園では、ほのかな桜葉の香りが特徴の「まちこ」の摘採が4月20日からスタートし、同区庵原町の長澤良和さんの茶園では約80kgを収穫しました。

長澤さんは「天候に恵まれ、満足のいく茶を収穫することができた」と話し、茶葉はJAの製茶ラボきらりてで、まちこ生産者の製茶講習会を兼ねて荒茶に仕上げました。

「まちこ」は、四季菜ジェラート&カフェきらりをはじめ、「清水みんなのお茶を創る会」に加盟する静岡市内の小売店で販売しています。



▲ 清水ブランド茶「まちこ」の摘採が始まった茶園

特殊詐欺被害防止 興津・高部支店に感謝状

JAしみずの興津・高部支店は5月19日、特殊詐欺を未然に防いだとして鈴木正勝清水警察署長から感謝状を贈呈されました。

詐欺の手口は2件とも同じで、役所を名乗る男から電話があり「医療費の還付金があるので、取り引きのある金融機関に出向いてほしい」と言われ、来店した顧客の対応をした職員が不審に思い警察に連絡しました。

高部支店の小林亘支店長は「詐欺は増えている。一層意識して業務に取り組みたい」と話していました。



▲ 表彰を受けた(右から)小林支店長、石原遼太郎さん、山梨由博次長、鮫島光雅支店長

基礎から学ぶ野菜作り 2023年度園芸塾始まる

JAしみず集出荷センターは4月12日、2023年度農業講座の第1回「園芸塾」を清水区内で開きました。本年度の塾生は、40～70代の10組。

同センターの営農担当職員が講師となり、塾生は1年間かけて土づくりや苗の植え付け、収穫までの基礎を座学と実践で学びます。

同塾はJA直売所への出荷者を増やすことを目標として、2021年度に准組合員を対象に開講しました。本年度は対象を正組合員まで広げ、サポートしています。



▲ 苗の植え付け方を学ぶ塾生

資産管理同友会 3年ぶりに総会開く

不動産オーナーで構成するJAしみず資産管理同友会は4月19日、庵原支店で第51回通常総代会を3年ぶりに開きました。

会場には同友会の総代など、関係者約50人が参加しました。2022年度事業報告並びに収支決算承認の件、23年度会費および加入金徴収の件など、3議案を審議し承認しました。

議事終了後は、小宮山麗子税理士が資産課税を中心とした2023年度税制改正について説明し、参加者は熱心に耳を傾けました。



▲ 3年ぶりに開かれた通常総代会

女性部通常総会 仲間とともに女性部を次世代へ



JAしみず女性部は4月19日、清水テルサで第50回女性部通常総会を開き、部員約270人が参加しました。部員が一堂に集まって開催するのは4年ぶり。

2022年度の事業報告と収支決算、23年度の事業計画、新役員の選任など全5議案を承認し、新部長には、高部支部の望月和加代さんが就任しました。

本年度もスローガン「みんなとともに☆地域で輝け☆世代をこえて！」に継続して取り組み、暮らしやすい地域社会づくりへの貢献や組織の活性化のために、活動していくことを確認しました。

2023年度《女性部》新役員



部長
望月 和加代
(高部)



副部長
服部 博美
(蒲原)



副部長
吉川 伊公子
(飯田)



副部長
刈和 美千子
(高部)

支部長

興津	米澤 静子	飯田	渡邊知恵子
小島	遠藤 初子	高部	栗田 寛子
両河内	大榎久美子	清水	鍋田 敏江
庵原	長澤代利江	有度	奥山 浩美
袖師	斉藤 芳美	由比	望月 澄子
		蒲原	米倉 昌子

監査委員

有度 堀場 博美
由比 豊島 宏美

青壮年部通常総会 「攻めの農業」で産地力の活性へ



JAしみず青壮年部は4月18日、庵原支店で第50回青壮年部通常総会を開き、2023年度の事業計画、新役員選任など全4議案を承認しました。

部長には高部支部の青木雄基さんが就任。ウクライナ侵攻などに起因する資材高騰や、昨年9月に襲来した台風15号による被災など厳しい情勢の中、本年度のスローガン「清水の農業は俺たちが守る『攻めの農業』～他より抜き出た杭になる～」を策定。農業経営の所得向上をテーマに、産地力の拡大、地域農業の活性化に努めていくことを確認しました。

2023年度《青壮年部》新役員



部長
青木 雄基
(高部)



副部長
古澤 重則
(有度)



副部長兼県運委員
佐藤 寛之
(小島)

支部長

興津	北川 慎悟	飯田	牧田 明
小島	副部長兼務	高部	田島 久資
両河内	山崎 貴正	清水	渡邊 遼平
庵原	朝倉 佑樹	有度	吉田 仁
袖師	池田 育生	由比・蒲原	石切山和啓

監査委員

由比・蒲原 望月 崇久
庵原 杉山 大智

顧問

両河内 滝 敏弘

① 畑の準備

苦土石灰



<1㎡あたり>

種まき・植えつけの半月
くらい前に苦土石灰
大さじ3~5杯まいて、畑
をよく耕しておく。

② 種まき・植えつけ

水

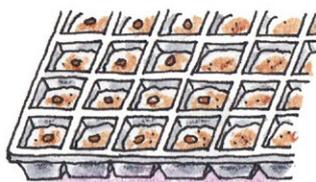
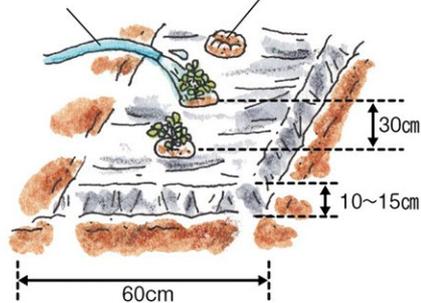


布袋

種を一昼夜ほど水に
浸して吸水させる。

植えつけ後、
株のまわりに
かん水する。

フィルムに
穴をあける。



72穴セルトレイに1粒ずつまく。



本葉2枚の
苗に仕上げる。



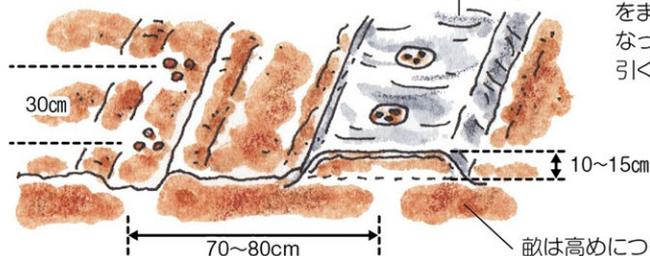
指先で
1cm深さに
挿し込む。

育苗する場合

マルチ栽培のときは、最初から畝を高めにつくっておき、土寄せはとくに行わない。

直まきする場合

黒色ポリフィルム



マルチ栽培の際は
1カ所2~3粒の種
をまき、4~5cmに
なったら、2本に間
引く。

畝は高めにつくっておく。



ラッカセイ

ラッカセイは、石灰分が不足すると空ざやになりやすいので、苦土石灰を施して畑を準備します。また、窒素分が効きすぎると「つるぼけ」になります。いので、肥料は控えめにしましょう。分枝し、株が広がってきたら、土寄せをして子房柄が土中へ入り込むのを助けます。この時、立ち性品種と這性品種のつるの広がり方の違いを考慮して適切に行うようにします。さやがおおむね肥大したころ収穫します。完熟させてもおいしいですが、未熟なうちに早採りしてゆでて食べるのもおいしいものです。

■施肥例

施肥量：1αあたり

種類	種類	施肥量	備考
元肥	苦土石灰	9kg	植付け20日前施用
	完熟堆肥	90kg	植付け10~15日前施用
	園芸配合80α	2kg	
追肥	ほう素入り粒状固形肥料080	750g	側枝が伸び始めたころ

※農薬は、ラベルに記載された安全基準を守って使用しましょう。

※ポジティブリスト制度を守り、農薬等の散布には十分注意してください。

上記の肥料・農薬は、JAグリーンセンターでお買い求めいただけます。

ご注意ください 毒物、劇物に指定されている農薬は、購入の際に印鑑が必要です。

グリーンセンターおススメ!アイテム

軽くて動きやすい!作業ブーツ



アグリカラー
5,500円(税込)



あぐるみ
WソフトブーツII
4,785円(税込)

軽量防水伸縮性に優れたアスレチック素材で蒸れにくく、夏の農作業やレジャーなどに大活躍!



グリーンセンター

元田 千晴

■商品については...



グリーンセンター
054-367-2112

③ 追肥

マルチ栽培の場合は、フィルムに穴をあけて施す。

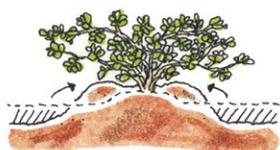
株の側方に肥料をばらまき、竹べら、木の棒などで土に混ぜ込む。



側枝が伸び始めたころほう素入り粒状固形肥料080を施す。窒素が効きすぎるとつぼけ状態になり、落葉(ちゃっきょう)が不良となるため注意。

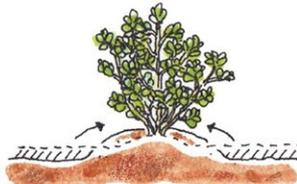
④ 土寄せ

分枝した枝の周辺にやや広めに土を寄せる。



這性品種の場合

株元付近の約15cmくらいの範囲に土を寄せる。



立ち性品種の場合

普通栽培の場合は、草丈が30~40cmに伸び、分枝してきたころ、マルチ栽培の場合は、花の咲き始め(7月上旬頃)にマルチを取り除き、株元に土を寄せる。



土中でさやが太ってきた状態。



子房(さや)

マルチ用フィルム(0.02mm厚の薄いもの)なら子房柄は貫通して土中に入る。

開化後数日たつと子房柄が地面に向かって伸び始め、土中に潜入する。その後4~5日で子房が太り始める。

⑤ 収穫

完熟子実どり

さやの網目がはっきりして肥大し、大葉が黄化した頃が収穫の目安。



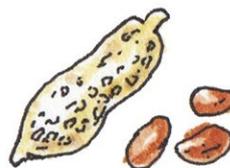
株ごと数日畑に広げてよく乾かす。

さやのまま乾燥させ食べるときに炒ってピーナッツとして食べる。

未熟子実どり



子実をさやごとゆでて、実を取り出して食べる。



さやがおおむね肥大したころ。



株のまわりに鍬を入れて試し掘りする。株を浮かせて引き抜くとよい。

■栽培カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
普通栽培(直まき)					●	●				■	■	
マルチ栽培(直まき)					●	●				■	■	

※育苗の場合：種まき時期は直まきと同様で本葉2枚(約3~4週間)になったら定植します。

● 種まき ■ 収穫

■病虫害防除

散布量：30ℓまで/1αあたり

対象病虫害	薬剤名	希釈倍率	使用日数	使用回数
うどんこ病・褐斑病・炭疽病	ベルコート水和剤	1000倍	収穫7日前まで	3回以内
アブラムシ類・カメムシ類	スミチオン乳剤	1,000~2,000倍	収穫21日前まで	4回以内
ハスモンヨトウ	トレボン乳剤	1,000倍	収穫14日前まで	2回以内

※らっかせいは「豆类(種実)」に分類されます。





二番茶摘採以降は、翌年の一番茶に向けた茶樹づくりと土づくりの季節となります

翌年の一番茶の親葉となる三番茶の生育が、来年の収量や品質に大きく影響しますので、しっかりと健全に生育させるよう、特に病害虫による加害に注意して管理を行ってください。

■ 二番茶収穫以降はハサミを入れない

夏から秋にかけて健全な葉を多く確保することにより、養分生成能力が高まるとともに根張りも良くなり、総合的に翌年の一番茶の品質を高めることに繋がります。

そのためにも、二番茶摘採後は、整枝を含め、浅刈り・深刈り更新は行わず、秋までしっかりと伸ばし、樹勢の回復を図ってください。

※放任管理とは異なりますので、確実な防除・施肥管理を実施してください。

■ 病害虫防除(表①)

三番茶芽の萌芽から開葉期にかけては、高温多湿の日が多くなることから、病害虫の発生が増加するため、この時期の防除が年間を通じ最も重要となります。4月に実施した清水全域の茶作柄調査では、山間地を中心に炭疽病と褐色円星病の発生が目立ちました。

病害虫に加害されると、側芽が伸び、弱い芽が増加し、翌年の一番茶収量や品質に影響を及ぼしますので、こまめに園地を巡回し、基準に沿った適期防除を実施してください。

また、一番茶後に更新した茶園では、再生芽の生育ステージに合わせて防除を実施してください。

■ 土壌管理(表②)

茶樹が良好に生育するためには、肥料の施用の他、土づくりが重要です。

化学性の改善(pHの矯正、苦土・石灰の補給)や物理性の改善(深耕や堆肥の投入)は、土壌環境の改善(肥料吸収率の向上・根の張りの良化)を図り、収量や品質の向上に繋がります。土壌分析の結果や葉色の状態を確認し、茶園土壌の状態を見極めて、必要な資材を積極的に茶園に投入するようにお願いします。

表① 病害虫防除

【通常管理園】

散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数
三番茶 萌芽～1葉開葉期	炭疽病・もち病・新梢枯死症・輪斑病	フロンサイドSC	2,000倍	14日	1回
	チャノキイロアザミウマ・チャノミドリヒメヨコバイ ツマグロアオカスミカメ	ウララDF	2,000倍	7日	1回
	チャトゲコナジラミ・チャノキイロアザミウマ チャハマキ・チャノコカクモンハマキ チャノホソガ・ヨモギエダシャク	ディアナSC	5,000倍	前日	1回
三番茶 2～3葉開葉期	炭疽病・もち病・褐色円星病	インダーフロアブル	5,000倍	7日	2回
	チャトゲコナジラミ・チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ・チャノコカクモンハマキ ヨモギエダシャク・カンザワハダニ・チャノナガサビダニ チャノホコリダニ・マダラカサハラハムシ	コテツフロアブル	2,000倍	7日	2回

【一番茶後更新園】

散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	日数	回数
更新後の 萌芽期～開葉期	炭疽病・もち病・褐色円星病・新梢枯死症	コサイド3000	1,000倍	14日	-
	チャノキイロアザミウマ・チャノミドリヒメヨコバイ チャノホソガ・ツマグロアオカスミカメ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	7日	2回
2～3葉 開葉期	炭疽病・もち病・新梢枯死症・褐色円星病	オンリーワンフロアブル	2,000倍	7日	2回
	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ ツマグロアオカスミカメ	ウララDF	2,000倍	7日	1回
	チャトゲコナジラミ・チャノキイロアザミウマ チャハマキ・チャノコカクモンハマキ チャノホソガ・ヨモギエダシャク	ディアナSC	5,000倍	前日	1回

表② 施肥

(10a当たり)

施肥名	時期	コース名	肥料名	施肥量
土壌改良	7～8月(深耕期)	「基本」[こだわり茶園] 「省力ロング」	苦土石灰(粉)	5袋

※苦土石灰(粉)が撒きにくい場合は、苦土石灰(粒)に変更してください。



■病害虫防除

表①を参考に防除を実施してください。黒点病薬剤は、散布後から30日経過および累積降水量が概ね250mmを越えると薬剤効果が低下します。農薬散布は前回散布以降の降水量を確認すると共に、アピオンE 1,000倍を加用し、耐雨性の向上に努めてください。

スリップスの発生に注意し、散布時期を調整してください。また、日焼け防止対策として、炭酸カルシウム剤を散布してください。

■管理作業

中晩柑は早期に摘果することにより、減酸と肥大が促進されます。また、樹勢の維持や連年安定生産にもつながります。

青島温州では隔年結果是正のため、着果が著しく多い樹に対して樹冠上部や半樹、枝別の全摘果に取り組んでください。

摘果方法は表②③を参考にしてください。摘果後、夏芽が発生します。発生した夏芽がミカンハモグリガやアゲハチョウの幼虫の被害を受けないように追加防除が必要になります。

表① 病害虫防除

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準*1	茶登録
青島温州	7月上中旬	チャノキイロアザミウマ	エクシレルSE	5,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回	×
	7月下旬~8月上旬	チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回	×
中晩柑	7月上中旬	チャノキイロアザミウマ	エクシレルSE	5,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回	×
	7月下旬~8月上旬	チャノキイロアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回	○
		黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	90日-4回	×

*1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわす。

- 【その他温州・中晩柑共通注意点】
- ・耐雨性向上を図るため、黒点病防除薬剤散布時には、アピオンE1,000倍を混用散布する。
 - ・夏期は原則ミカンハダニの天敵保護に努める。しかし、多発園にはコロマイト水和剤2,000倍(7日-2回)を散布する。
- 【温州注意点】
- ・昨年サビダニ発生園ではマッチ乳剤3,000倍(14日-3回)を散布する。
- 【中晩柑注意点】
- ・かいよう病多発園ではクレフノン200倍加用、クプロシールド2,000倍(-)を定期的に散布する。

表② 摘果

品目	対象品種	全摘果する果実	残す果実	摘果方法	摘果時期目安	最終適正葉果比
中晩柑	はるみ	直花果、軸太果、樹上1/3(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果	・外周部の有葉果 ・10cm以上で5枚程度の有葉果 ・果梗枝の細い有葉果	1回目70~80%を摘果後、その都度摘果	着果過多樹 生理落果後~8月中旬 着果過少樹 7月下旬~8月中旬	120枚に1果
	太田ボンカン	直花果、短い有葉果、軸太果、樹上1/3(主枝・亜主枝先端)、内・裾なり果、極小果、奇形果、腰高果、傷害果		直花果、短い有葉果から摘果	生理落果後~9月上旬まで	100~120枚に1果
	不知火			1回で摘果を仕上げる	生理落果後~7月中旬まで	120枚に1果
	清見			1回目70~80%を摘果後、その都度摘果	生理落果後~7月中旬まで	80~120枚に1果

※着果の多い樹から摘果に取り組んでください。

表③ 摘果

品目	摘果方法	条件	摘果方法	摘果終了時期目安
青島温州	樹冠上部全摘果	春芽の発生が全くない場合	上部1/2を全摘果	早生:7月上旬 青島:7月中旬
		春芽の発生が少ない場合	上部1/3を全摘果	
	枝別全摘果	着果量が著しく多い場合	直径5cm程度の枝を4本全摘果	
	半樹全摘果		樹を半分に分け、片方を全摘果	



■中干しの重要性

水稲では、穂になる茎数(有効分けつ)が確保されるまでに田植えから30~35日掛かり、それ以降(田植え後35日~出穂前30日頃)に増える茎は穂の実らない不要な茎(無効分けつ)となります。この無効分けつを抑えるために、中干しを行います。

中干しは、田植え後30~40日頃を目安に、1株あたりの茎数が20本程度になった時期に開始します。中干しの程度は田面に小さなヒビが入り、軽く足跡が付く程度です。目安は約2週間ですが、地力や排水性など土質の条件に応じて強さや期間を調節してください。

施肥省力コース(元肥一回処理)の場合は、中間の肥効を抑えるために必ず行います。また、中干し後の入水により肥料(穂肥と同じ効果)が効きますので、穂肥時期に入水するようにしてください。

■穂肥の施用

穂肥は一穂粒数の減少を抑え、出穂期までの稲体窒素濃度を高め、登熟を良好にすることを目的としています。ただし、穂肥の使用時期が早すぎたり、量が多すぎたりすると病害や倒伏が発生しやすく、遅れると穂が小さく粒数が減少する傾向があります。





■ 管理作業

乾燥期は適宜かん水に心掛けてください。イチジクは、葉や果実に水がかからないよう注意してください。

キウイフルーツ、柿の枝葉が過繁茂となっている場合は適度に夏季せん定を実施してください。

■ 病害虫防除

柿のカキノハタムシガについて、虫が果実に侵入した後では薬剤散布の効果がありません。侵入前の防除を実施しましょう。

害虫は発生初期が防除のタイミングです。表を参考に防除してください。

表④ 病害虫防除(落葉果樹)

静岡県落葉果樹振興協会発行栽培暦より抜粋

品目	散布時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍率	使用基準 ^{※1}
イチジク ^{※2}	7月上旬	アザミウマ類、キボシカミキリ	モスピラン顆粒水溶剤(劇)	2,000倍	前日-3回
		さび病	トリフミン水和剤	2,000倍	前日-3回
	7月中旬	黒かび病	トップジンM水和剤	1,000倍	7日-5回
		カンザワハダニ	マイトコーネフロアブル	1,000倍	前日-1回
7月下旬	黒かび病	ロブラール500アクア	1,000倍	3日-3回	
柿 ^{※3} (次郎、四ツ溝)	7月上旬	落葉病、炭疽病	エムダイファー水和剤 または、ペンコゼブ水和剤	500倍	45日-2回
	7月中旬	カキノハタムシガ、ハマキムシ類	フェニックスフロアブル または、サムコルフロアブル10	4,000倍 5,000倍	7日-2回 前日-3回
キウイフルーツ (ハイワード)	7月上旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤 または、ロブラール水和剤	1,000倍	前日-5回 前日-4回
	7月中旬	クワシロカイガラムシ 果実軟腐病	コルト顆粒水和剤 トップジンM水和剤	3,000倍 1,000倍	前日-3回 前日-5回
梨(幸水・豊水)	7月上旬	輪紋病・黒星病	ベンレート水和剤	3,000倍	前日-4回
		ハマキムシ類、シンクイムシ類	フェニックスフロアブル	4,000倍	前日-2回
	7月中旬	ハマキムシ類、シンクイムシ類、カメムシ類	テルスター水和剤	1,000倍	前日-2回
		輪紋病、黒星病	ストロビードライフロアブル	3,000倍	前日-3回
7月下旬 ^{※4}	シンクイムシ類、カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	前日-3回	

※1 使用基準は「収穫前日数-散布回数」をあらわす。

※2 アザミウマ類の多発が心配される場合は7~9月に次のいずれかの薬剤を散布する。
アディオン乳剤2,000倍(前日-2回)、スカウトフロアブル(劇)2,000倍(前日-3回)、
コテツフロアブル(劇)2,000倍(前日-2回)(対象はヒラズハナアザミウマ)

※3 カメムシの発生が多い場合は、次のいずれかの薬剤を散布する。

テルスターフロアブル(劇)3,000倍(3日-2回)、ロディー水和剤(劇)1,500倍(7日-3回)、

アグロスリン水和剤(劇)1,000倍(前日-3回)、スタークル顆粒水溶剤2,000倍(前日-3回)、
アドマイヤー水和剤(劇)1,000倍(7日-3回)、キナップフロアブル2,000倍(7日-2回)

※4 7月下旬にハダニ類が多発した場合は、カネマイトフロアブル1,000倍(前日-1回)、
またはスターマイトフロアブル2,000倍(前日-1回)を散布する。

霊力宿る(?)
孫悟空のモモ



古来、中国ではモモは「仙果(邪気を払い不老不死をもたらす果物)」と考えられていました。

小 説「西遊記」の中で、孫悟空は天界のモモ園(食べると不老不死になる蟠桃(ばんとう))の管理を任されていましたが、西王母(せいおうぼ)という女神の誕生を祝う会に自分だけ招待されなかったことに腹を立て、不老不死のモモを盗んで食べたため、天界を追放されています。その後、天竺(てんじく)、現在のインドを目指す玄奘三蔵(げんじょうさんぞう)に付き従う不老不死の孫悟空が大活躍します。

ここに登場する「蟠桃」は、前回紹介した「上海水蜜桃」や「天津水蜜桃」と同じく、明治初期に中国から日本に導入されました。果実は100g~200g程度、平たい形で真ん中が少しくぼんだユニークな形をしています。果肉が白い品種と黄色い品種があり、中央部にはハート型の核が入っています。



中国・北京空港で売られていた「蟠桃」



「蟠桃」の果実

農にまつわる
エ・ト・セ・ト・ラ
et cætera

農業にかかわるよもやま話を
不定期にお届けします。

第2回

収穫時期は7月下旬~9月上旬頃で、食味が良く、ジュースィーで香りも良好です。

中国では高級果物店から街頭の露店など広く見かけますが、わが国では、気候に合っていないのか栽培が難しく、生産量が非常に少なく、「幻の桃」などというふれこみで、高級果物店などでは非常に高値で売られています。



スマホでもチェック!

材料
2人分

- 葉ネギ …………… 1束(正味90g)
- キムチ …………… 60g
- 鶏ひき肉 …………… 300g

[調味料]

- マヨネーズ …………… 大さじ1.5
- 中華スープの素(粉末)
…………… 小さじ1.5
- 片栗粉 …………… 大さじ1.5
- のり(全形) …………… 2枚
- ごま油 …………… 大さじ1
- 塩 …………… ひとつまみ



葉ネギのおつまみ巻き

～葉ネギを鶏ひき肉で包んだ、つくね風のり巻き～

(1) 葉ネギの準備をする

- ① 葉ネギは洗ってしっかり水気を拭き、長さを1/2～1/3に切る**a**。
- ② 半量ずつ互い違いになるように耐熱皿にのせてゆるくラップをかけ、電子レンジ(600W)で1分加熱する。ラップをはずし、粗熱をとる。

(2) 肉だねを作る

- ① ボウルに鶏ひき肉を入れる。空いているスペースへマヨネーズを入れる。その上に中華スープの素をのせ、ゴムベラで混ぜてから、鶏ひき肉と混ぜる。
- ② 均一になったら、片栗粉も加え混ぜる。

(3) のりで材料を巻く

- ① のりよりも長めにラップを切り、縦長に敷く。ラップの手前を5cm程度残して、のりを縦長に置く。向こう側3cm程度をのりしろとして残し、ひき肉の半量を隙間なくの

りに塗りつける。

- ② 手前2cm程度を空けて、キムチ半量を2cm幅で横に並べる。奥側の鶏ひき肉全面に、葉ネギの半量をキムチと並行に広げる**b**。
- ③ ラップの手前を持ち上げるようにしてキムチに手前のひき肉をかぶせ、それを芯に全体をクルクルと巻いていく。のりしろをしっかり押し付けるようにして止める。同じようにもう1本作る。

(4) 焼いて仕上げる

- ① 冷たいままのフライパンにごま油を入れ、塩ひとつまみを散らす。**(3)**をのせてから点火し、弱めの中火で触らずに2分焼く。裏返してさらに2分、両サイドも1分ずつ焼く。
- ② 粗熱をとってから、それぞれ4つに切り分ける。皿に盛りつければ完成。



葉ネギを切るときは、のりを縦に置き、両端から少しはみ出す程度(10cm以下)の長さに切ると、巻きやすい。



のりにひき肉を塗りつけ、その上にキムチと葉ネギをのせる。のりの奥側は、のりしろとして空けておく。

ひき肉ダネと卵、マヨネーズのおいしい関係

ひき肉ダネを作る際によく卵を加えるのは、卵のうま味やコクが加わるほか、卵白にはひき肉同士をくっつける力、卵黄には肉汁と脂肪を一体化する力があり、おいしくジューシーで柔らかいひき肉ダネができるためです。

ただし、適量は肉400～500gに対して1個。多すぎるとまとまりません。

そこで、少量の肉にはマヨネーズ。ひき肉とマヨネーズをこねると、マヨネーズの乳化された卵、酢、油がひき肉ダネ全体に素早く拡散。加熱しても、ひき肉同士が硬く結びつかず、肉汁の保持された柔らかくおいしい肉ダネになるのです。



【今月の素材】葉ネギ

夏場は固めの食感でさっぱりとした味わいに、冬場は柔らかく甘く育てる「白ネギ」に対し、年間を通して安定した品質に育てる「葉ネギ」。香りや辛味の素となるスルフィド類やビタミンB1の吸収率を高める含硫成分など機能性成分の力は「白ネギ」に軍配が上がります。

他方機能性成分に加え、ハウレン草や小松菜、ニラなどの代表的な葉物野菜に負けないほどのビタミン・ミネラルを含む「葉ネギ」はトータルでの抗酸化力で勝ります。



遠山 由美

野菜ソムリエ上級プロNR、食育プロデューサー他<略歴>

日本初の「シニア野菜ソムリエ」第1号取得者。野菜や果物の魅力を料理、栄養学、食育など多くの手法で伝え、生産者と消費者の掛け橋として、テレビやラジオなど多方面で活躍中。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは国連が定めた、地球の明るい未来のための17の目標。
JAしみずは2019年12月にSDGs宣言をしています。

農業の未来とSDGs

vol.23



国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の理念は、協同組合の「相互扶助」の活動に通じます。このコーナーでは、JAのSDGsともいうべき協同活動を中心に、自己改革や新たな取り組みを紹介しています。

組合員の営農継続のために 資材高騰や台風被害による負担を支援

原料を輸入に大きく依存する肥料などの生産資材の価格が高騰し、農業経営の厳しさに拍車のかかる情勢が続いています。ウクライナ危機や新型コロナウイルス禍、円安などの世界的な情勢に加え、2022年9月には台風15号が襲来し、清水区全域で農地や農機具などへの被害もありました。



台風15号で被害を受けたハウスの中

こうした中、JAしみずでは購買課を中心に、組合員の営農継続に向け、3つの支援を行ってきました。

① 営農資材高騰への対応

中国、ロシア等の原料主要生産国による輸出制限(停止)によって肥料不足が発生し、一部の商系メーカーでは供給停止が起るような状況の中、組合員の不安を払拭するために、在庫の確保を最優先しました。

早い段階での発注による当面の在庫確保とともに、年特肥料については、価格改定にあたりJAの値入率(利益設定)を下げ、利益を圧縮したことで、組合員の負担軽減に努めました。
また、国・県・市が行う補助事業への申請に対して、提出する証拠書類の作成などを支援しました。

② 台風15号被害への対応

台風15号で水没した農菜の回収を行い、162人から集まった、計4000

キロを無料で処分しました。

今回はこれまで対応していなかった「水銀農薬」など特殊農薬の回収もすべく、産廃業者と新たに契約しました。これは県下JAで初めての試みでしたが、前年度と比べ、10倍以上の重量の特殊農薬を回収しました。

希望する組合員に対しては、購買未収金の決済時期を翌年2月まで延長しました。

③ 新たなニーズに対応 レンタル事業を開始

大手建機レンタル業者「太陽建機レンタル」と業務提携をし、草刈り機から軽トラック、大型重機まで可能な農機レンタル事業を2022年8月より始めました。

JA営農窓口へお申し込みいただくと、直接取引よりも低価格でレンタルができます。

組合員がより良く営農を継続していくため、今後も購買課、各営農センター・営農拠点・営農経済部など関連部署が連携して、取り組んでいきます。



段ボール箱を活用した燻製器を作る部員ら

Let's have turn!



青壮年部の活動報告

いまだき! Youth

このコーナーでは、青壮年部の活動の様子を隔月で紹介していきます。
 今月は若手グループ活動の料理教室で取り組んだ、燻製(くんせい)作りを紹介します。

段ボール箱を利用して、ジビエ燻製を作ろう!

青壮年部は5月9日、清水区の原土地改良区内で料理教室を開き、地元のジビエ肉などを利用して燻製作りにも挑戦しました。

同部の料理教室は、組織の活性化と部員同士のつながりを強化する取り組みとして、2022年度からスタート。これまでクッキーや和菓子など、スイーツを中心に作ってきました。

今年はレパートリーを広げようと、段ボール箱を利用した燻製作りを企画。趣味のアウトドア活動で、7〜8年前から燻製作りの経験がある庵原支部の高田啓祐さんが「青壮年部の活動でも作れないか」と旗振り役となって、部員6人が参加しました。

部員たちは、段ボール箱に市販の金属網を取り付けた燻製器を自作して、手際よく準備しました。

チップに火を付け、燻煙がはじまると香ばしい香りが広がります。食材は定番のゆで卵、チーズのほか、ナッツやポテトチップスまで登場。ジビエのイノシシ肉約1キロも持ち込み、30分ほど燻製して試食しました。部員たちは「香りが強い

が、かんでいるとうま味が出てくる」と舌鼓を打っていました。

清水管内では有害鳥獣の被害が多く、燻製はわな等で捕獲したジビエ肉の利用法としても、可能性を探っていく意向です。

青壮年部は本年度、「清水の農業は俺たちが守る『攻めの農業』」他より抜き出た杭になる」をスローガンに活動。青木雄基部長は「昨年度はコロナや農閑期の都合で部員のスケジュール調整が難しかった。今年はずっと活動していきたい」と意気込んでいました。

部員のひとこと

もともとアウトドアが好きで、燻製はすぐできて簡単なので、経験をもとに挑戦してみました。

今年はコロナ禍の規制も少なくなり、料理の他、スポーツでも活動していきたいです。



JA青壮年部 庵原支部 高田啓祐さん

魅力ある活動を
目指します!

静岡市農業用機械継承支援事業

使用できる状態にありながら使用されていない農業用機械を他の農業者に継承することで、初期投資の軽減や農業用機械の有効活用を図るため、他の農業者に継承することが可能な農業用機械を市ホームページ上で公開し、継承が成立した農業用機械を使用する前に行うメンテナンス費用の一部を補助する制度です。

■対象者

本事業により、農業用機械の継承を受けた市内に居住する新規就農者、認定農業者および開業届を提出しており、前年の農業収入(販売金額)が50万円以上の方

■補助対象事業および補助率(限度額) ※消費税を除く
継承を受けた農業用機械のメンテナンスに要する経費の1/2(5千円)

※機械使用前に行うメンテナンスに限ります。また、部品交換等の修繕は補助の対象となりません。

■申請期限

2024年2月29日(木)まで

※期間内でも予算の状況により、受付を終了しますのでご注意ください。

■お問い合わせ

詳細は、ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

静岡市役所 農業政策課 農業支援係

TEL:054-354-2086

E-mail:nougyouseisaku@city.shizuoka.lg.jp

静岡市いきいき都市農業推進事業

静岡市では、市街化区域内で農業を営む方を対象とした支援事業を行っています。

市街化区域内で生産・出荷調整・加工販売など農業経営に必要な施設整備・機械の導入にかかる経費の一部(上限30万円で、1経営体あたり年1回限り)を補助します。

※生産資材(種苗、肥料、農薬など)や汎用性のあるもの(スコップ、くわ、小農具、軽トラックなどの車両、パソコンなど)および雨水貯水タンク200L以上や自主施工のための材料費は補助の対象になりません。

■対象者

市内に住所を有し居住する農業経営主で、市街化区域内の農地(借地でも可)で営農活動を行い、前年の農業収入(販売金額)が50万円以上ある方

■補助対象事業および補助率(限度額) ※いずれも消費税を除く

○農作物生産効率向上事業 補助対象経費の1/3以内(30万円)

○環境配慮型農業用機械器具導入事業 補助対象経費の1/2以内(30万円) ※園芸施設におけるヒートポンプや化石燃料を使用しない電動式の農機具(草刈機等)が補助の対象となります。

○市民農園整備事業 補助対象経費の1/2以内(50万円)

■申請期限

申請は毎月、月末で締め切ります。

2023年度の最終受付は2024年1月31日(水)です。

■お問い合わせ

事業の詳細や申請方法などはホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

静岡市役所 農業政策課 農業支援係

TEL:054-354-2086

E-mail:nougyouseisaku@city.shizuoka.lg.jp



清水厚生病院

整形外科、消化器内科、形成外科に新しい医師が赴任しました

◆ 整形外科

高橋 正典
たかはし まさのり

【診察日】
火曜日・金曜日
8:30~11:00



【診療対象・コメント】

火曜日・金曜日の外来診療、一般外傷の手術をメインに担当させていただきます。親しみやすく相談しやすい環境を作り対応するように心がけていこうと思います。よろしくお願ひ致します。

【資格】

日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会リハビリテーション認定医

廣瀬 元基
ひろせ げんき

【診察日】
月曜日・火曜日
8:30~11:00



【診療対象・コメント】

まだまだ若輩者で至らない点も多々あると思いますが、一生懸命全力で診療にあたります。よろしくお願ひ致します。

◆ 消化器内科(非常勤医師)

田中 文彦
たなか ふみひこ

【診察日】
火曜日 9:00~12:00

巖 理華
いわ りあ

【診察日】
木曜日 9:00~12:00



◆ 形成外科(非常勤医師)

鈴木 沙知
すずき さち

【診察日】
火曜日 13:30~15:00

整形外科外来にて診察を行います。

【主な診療症例】

・皮膚良性・悪性腫瘍(悪性黒色腫を除く)
・軟部良性腫瘍(脂肪腫など)
・顔面、体表の外傷、熱傷
・手術後の創治癒不良
・褥瘡(じよくそう)
・顔面骨骨折
・傷跡(肥厚性瘢痕(はんこん)、ケロイド含む)
・眼瞼(がんけん)下垂、まつげ内反、眼瞼内反
・難治性足潰瘍
他にも疑い症例等あれば、ご相談ください。



JA静岡厚生連 清水厚生病院

静岡市清水区庵原町578-1
TEL:054-366-3333(代表)

問い合わせ・予約 平日14:00~16:30
電話にてご予約ください。

外来受診 平日8:00~11:00に
総合受付で受付をしてください。



■ 議事

- 不良債権(個別債務者)の処理の方針について
- 2023年度事業計画の設定について【通常総代会提出議案】
- JAしみず2か年計画の設定について【通常総代会提出議案】
- 自己改革工程表の策定について【通常総代会提出議案】
- 定款及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について【通常総代会提出議案】
- 規約の一部変更について【通常総代会提出議案】
- 役員選任細則の一部変更について【通常総代会提出議案】
- 任期満了に伴う理事及び監事の選任について【通常総代会提出議案】
- 退任理事に対する退任慰労金の支給について【通常総代会提出議案】
- 退任監事に対する退任慰労金の支給について【通常総代会提出議案】
- 2023年度理事・監事の役員報酬の総額について【通常総代会提出議案】
- 2023年度地域運営委員長の役員報酬の設定について
- 静岡市補助金等交付規則に基づく補助金の交付申請、請求、受領及び実績報告等についての権限の一切を組合に委任することについて【通常総代会提出議案】
- 組合員の出資口数減少の申し出について
- 固定資産の賃借について
- ヘルプライン運営規程の一部変更について
- 「与信取引に関する利用者への説明態勢にかかる規則」の一部改正について
- 理事に対する貸出案件について
- 2023年度余裕金運用計画額および運用方針の修正について



「新商品製造のため加工用機械を導入したい」、「新商品パッケージデザインを業者に依頼したい」といった加工や販売を行うことで所得向上を目指す新たな取り組みに対し、静岡市が補助する制度です。

■ 対象者

市内に住所を有し、かつ、居住し、市内の農地で生産を行っている農業者

■ 補助対象事業(新規事業に限ります)

- 1 農産物の加工用の機械・器具の導入
- 2 新商品開発に伴うマーケティング調査・講習会等の開催
- 3 農産物の販路拡大等を目的としたイベントの開催・出展 など

■ 補助率(限度額) ※消費税を除く
補助対象経費の1/2(50万円)



■ 申請期限

2023年9月末日まで
※申請の1カ月前までに一度ご相談ください

■ お問い合わせ

静岡市役所 農業政策課
みかん・園芸・畜産係

TEL:054-354-2091

E-mail:nougyouseisaku@city.shizuoka.lg.jp



「ごちそうカントリー」で折戸なすを紹介



静岡県のJA提供番組「ごちそうカントリー」で折戸なすが紹介されます。ぜひご覧ください。

■ 番組 静岡第一テレビ「ごちそうカントリー」

■ 放送日 6月25日(日) 11:40～

■ 出演者 折戸なす研究会 窪田 正昭さん

第51回通常総代会のお知らせ

第51回通常総代会を下記のとおり開催します。

■ 開催日 6月15日(木) 9:30開会

■ 場所 静岡市清水文化会館マリナート
静岡市清水区島崎町214

- 決議事項
- ・2022年度事業報告
 - ・2023年度事業計画
 - ・任期満了に伴う理事および監事の選任 他

編・集・後・記

今月も「しみずの風」をお読みいただき、ありがとうございました。

本誌14P「孫悟空のモモ」の話が面白い。70年代のTV西遊記で孫悟空を演じた、堺正章さんがモモを食べている映像が頭に浮かんだ。このコラムは、集出荷センターに執筆をお願いしている。毎回楽しみだ。(伊藤)

広報誌の取材や新聞投稿を続ける中で、その景色が鮮やかすぎて、アタマが追いついていけない。何度もピンチになるけれど、「なんかワクワクすっぞ」というあのキャラの気持ちがかかるようなこの頃。(横谷)

コロナ前の日常が戻りつつあるこの頃。それまでの当たり前が、当たり前でなくなった未曾有の経験は、未来の私たちが振り返ったとき、どう映るのだろうか。とりあえず今は、長いマスク生活で色々怠りすぎたことを反省している。(杉山さ)

近年、非電源ゲームが流行っているようで、私もボードゲームができるお店に行ってきました。人狼など多人数で遊ぶものが有名ですが、少人数で遊べるものもいくつかあり、楽しむことが出来ました。(見宮)

青壮年部が燻製作り挑戦すると聞き取材してきた。道具はダンボール箱でOK。アウトドアにぴったり。もちろん試食もした。ただしアルコール類がなかったため「匂い」を自宅に持ち帰り家飲みで喉を潤した。(杉山滋)

